

二本松市岩代赤十字奉仕団

二本松市岩代赤十字奉仕団					
年度	実施日	内容	会場	参加人数	
2012年度					
1	5月29日(日)	50	ボランティアに花植え	二本松市 仮設多目的運動会棟仮設住宅	72人
2	10月27日(土)	20人	花植え	二本松市 仮設多目的運動会棟仮設住宅	150人
2013年度					
1	10月29日(日)	20人	いわし炙、浪江交差点(仮設部)に	二本松市 仮設多目的運動会棟仮設住宅	260人
2	2月28日(木)	5人	お家へお菓子(仮設多目的運動会棟)	二本松市 仮設多目的運動会棟仮設住宅	21人

[活動の実績はこちら](#)



★いつから活動されていますか？

- 2012年5月27日より活動
- 活動の要請を福島県支部より打診され、「何か支援できないか」と思い手を挙げた。

★対象はどちらの地域の方ですか？

- 主に浪江町民の皆さん。(他の地域も何世帯か有)

★どんな活動をされていますか？

- 花植えや芋煮会等(仮設住宅での秋のイベント)

★活動を始める際、どこでだれと協議しましたか(どなたの発案ですか？)

- 福島県支部より復興支援活動の打診があり、分区長の後押しもあり活動に至った。福島県内でも、入居世帯数が特に多い仮設住宅のため、支援活動の協議は赤十字奉仕団役員と仮設住宅自治会役員との間で綿密に行った。花植え活動に決まってからは、少しでも長く咲いてくれる花を選ぶなど、住民の方が長期に渡りお世話できるような植物を選び、住民の方と一緒に活動し大変好評であった。

★被災された方々の声はどうでしたか？

- 活動を通して交流をしようとしても出てくる人は出てくるが、出てこない人は出てこない。
- 世帯数の多い仮設住宅ということもあり、住宅間の通路が狭く担架が家に入らないなど、高齢世帯ならではの問題が多く出ている。そのため希望者には担架などが入れるように仮設住宅をリフォームする方も見られる。



★支援活動において良かったことは何かありますか？

- 自治会が大変積極的であり、いい距離間をもって活動できている。
- 自治会長から地域住民に、「お世話になっているので一緒に交流したい」との話があり、仮設住宅での復興支援活動に地域の方を招いて交流を図った事がきっかけで、地域の方の畑を借りたり、ゲートボール、カラオケなど一緒に楽しんだり、良い関係が築けた。

★大変だったこと・困ったこと等ありましたらお聞かせ下さい

- 活動の打合せ時点と当日の人数が大きく変化してしまう。世帯数の多い仮設住宅なので人数の把握に苦労する。活動する時期が丁度自治会役員の入れ替え時期と重なるため、班長さんが替わり引き継ぎがうまくいかない。

★今後の支援活動において何か新しい取り組み等がありましたらお聞かせ下さい

- 芋煮会に合わせて新米のおにぎりを一緒に食べる予定である。
- 支援活動も回数を多くするのではなく、決まった時期に決まった活動を行うことで季節の楽しみとして心待ちにしている。

★支援者(奉仕団や他団体)の「こころのケア」の必要性を感じますか？

- 必要と感じる時もある。
- ボランティアとして活動しているので、苦労話等の話をしても「好きでやっているでしょ」と言われる。震災時の話を誰にも言えない。ボランティアをしている人の話もきいて欲しいと感じる時もある。

